

2004.1月号

NIPPON GOOD PARTS

No.153

# NGP NEWS

## 自動車リサイクル技術フォーラムに共同出展

# リサイクルパーツの展示を中心に NGPグループの商品品質・取り組みなどをPR

北海道と札幌市が共催する「自動車リサイクル技術フォーラム」が、11月6日、7日の二日間、札幌市のアクセスサッポロで開催された。この展示会にNGPグループも、北海道ブロックのメンバーを中心に株ビッグウェーブと株エコラインと共同出展という形で参加、リサイクルパーツの啓蒙促進、使用済み自動車の適性処理などの分野でNGPグループの活動PRを行った。



来場者にリサイクルパーツの説明するメンバースタッフ

### 自動車リサイクルの最新情報が 集まった総合展示会に注目集まる

この自動車リサイクル技術フォーラムは、北海道と札幌市が主催する国内外の自動車リサイクル技術や関連機器、高品質なりサイクルパーツなどを一般の人々にも知ってもらうための総合展示会であり、2005年1月から施行される自動車リサイクル法を見据えたものであり、使用済み自動車の適性処理、自動車リサイクルの普及啓蒙を目的としている。

フォーラム2日目には、自動車リサイクル法施行を1年後に控えて、関係事業者、自治体、行政など関係者が抱える課題、対策の方向性などを討議するパネルディスカッションも開催されるなど、一地方自治体が自動車リサイクルをテーマに展示会を開くのは初めてで、自動車リサイクルに関する最新情報が集まる展示会として業界内だけでなく、広く関心が集まり、会期中の二日間合計で約16,000人の来場者が訪れた。

### NGPリサイクルパーツを展示、 高品質のNGPブランド商品をPR

このフォーラムにはNGPグループ、株ビッグウェーブ、株エコラインも共同ブ

ースを設け、商品化されている各種リサイクルパーツ(中古パーツ・リビルトパーツ)を展示した。また、エンジンやオルタネーター、ACコンプレッサーなどの各種テスター類も展示し、リサイクルパーツの商品化までの流れや商品の品質を保つための保管方法などもビデオや写真パネルを使って解説、来場者にNGPブランドの商品が確かな品質管理のもと、商品化されている高品質なりサイクルパーツであることをアピールした。

自動車リサイクル法を施行後、円滑に機能させていくためには、この自動車リサイクルという考え方をもっと一般ユーザーの人たちに理解・認知してもらうことは必要不可欠になってくる。

NGPグループでは、この展示会のように自動車リサイクルパーツの積極的な活用を一般ユーザーにも訴えていくことで、自動車リサイクル全体の啓蒙促進を図る活動を今後も積極的に行っていく。



リビルトバンパーなどの外装部品から電装品のテスター類も展示

品質管理のための商品の保管方法なども分かりやすくパネルで説明

ビデオによる解説やエンジン・テスターを展示。高品質なりサイクルパーツをPR。



# 自工会が全国でエアバッグ類の適正処理講習会を実施!!

## 一括作動・個別作動方法の実演講習などを行う

2005年1月から本格施行となる自動車リサイクル法では、エアバッグ類が指定回収物品として指定され、自動車解体業者には回収義務（インフレーター取り外し、または自動車メーカー等の委託を受けての車上展開処理）が発生することになる。

このため、日本自動車工業会（宗国旨英会長）は、自動車解体業者が安全面・環境面に充分留意して作業が行えるように2003年11月から2004年5月までの半年の間、週1~2回のペースで全国47都道府県において、エアバッグ類の回収・処理時の安全な作業方法などの習熟を中心とした全国講習会を実施している。

そんな中、11月19日に神奈川で行われた講習会には解体業者など多数の関係者が参加した。内容は座学と実演が行われ、ポイントは3つ。自動車リサイクル法におけるエアバッグ類の位置付けについて、エアバッグ類の取り外しおよび作動処理方法について、一括作動・個別作動方法の実演となっている。

エアバッグ等の処理実演では、実車を使いエアバッグモジュールの取り外しからインフレーター回収の手順を説明（写真）、自動車メーカー指定取引場所までの運搬方法の説明などが為された。また、車上作動処理では、個別作動と一括

作動の実演がなされ、近隣地域への騒音防止を考えて、実施車には覆いを被せて作業する方法（写真）や一括処理用の専用ツールとエアバッグコントロールユニットを結線して作動処理する方法（写真）などの解説が行われた。

実演講習後に設けられた質疑応答では、解体業者から、エアバッグの処理費用の問題や車上処理が可能となる環境設備などについての質問が寄せられた。

エアバッグ類適正処理講習会に関する問い合わせは、  
日本自動車工業会・環境統括部  
電話 03-5220-3805まで



モジュール部分より、それぞれ一つずつ、インフレーターを取り外していく。



個別作動の場合、エアバッグ類のハーネスを取り出し、モジュールに作動用ケーブルを結線して作動させる。



一括作動処理の場合、専用ツールを使用。エアバッグコントロールユニットに繋ぐと、その車にエアバッグやシートベルトプリテンショナーなどが何個搭載されているか表示される。



取り外したインフレーターは、メーカーの指定したケースに梱包して指定の引き取り場所に運搬する。



車上作動処理の場合、近隣などの環境を考慮した防音対策が必要。



車上作動処理後は後処理や換気を行って、作業者の安全・健康面などにも十分な配慮が必要。

## リサイクル法施行へカウントダウン! NGPグループが、「ISO14001認証取得第3次プロジェクト」を開始へ!!

自動車リサイクル法では、解体事業者に業の許可基準の取得を義務付けしており、2004年7月までにその許可を取得しなければならない。

しかしながら、業許可だけでは、これからのリサイクル法時代に勝ち残ることは難しい。

NGPグループでは、来るべき自動車リサイクル法施行を視野に入れ自動車リサイクル業界ではいち早く、会員メンバーによる環境ISO14001取得を目的とした推進プロジェクトを設置、メンバー各社がISO14001を取得することによって、地域での信頼を獲得し、経営基盤の強化

にも繋がるものとしてグループの事業計画にも盛り込んで、認証取得を継続的にサポートしてきた。

2002年よりスタートした第1期、第2期の同プロジェクトでは、約60社近くの会員メンバーがISO14001の取得にチャレンジ、2003年度中にも認証取得をする見込みとなっている。

そしてこの度、グループではISO14001認証取得プロジェクトの第3次募集を開始し、11月29日には「集合コンサルティング」説明会を本部で開催した。

この第3次プロジェクトでは、2004年1月から認証取得に向けた講習をスター

トする予定になっており、2005年1月のリサイクル法施行前の認証取得を目指している。



ISO14001認証取得プロジェクトでは、集合コンサルティングも実施している。

### 第3回後継者研修会

# 高い問題意識を身に付け、後継者候補達が決意表明!!

11月21日～11月23日 あいおい損害保険(株)小田原研修所



講師と受講生(あいおい損害保険(株)小田原研修所)にて

NGPグループ・教育部では11月21日から11月23日の3日間の日程で、第3回後継者研修会を開催した。

今回の参加受講者は6名で、うち3名が今回のこの研修には初参加であった。

後継者研修会は、NGPメンバーである将来各社のトップとして引っ張っていく立場の後継者の人たちに、高い問題意識を持った強いリーダーを育成していくことを目的としている。

今回参加したメンバーも、20代から30代とこれから自社の柱となるリーダー候補生たちであり、3日間という集中した時間の中で、“何を後継していくのか?”、“優秀な経営者とは?”などのディスカッション等を通じて、自社あるいは自分自身の現状問題点を挙げ、それぞれのテーマ(3つ)を決めて、目標、実践してい

くというプログラムを遂行した。

最終日は、この研修で学んだことや新たに決めたテーマなどの決意表明を行った。

「他の後継者の人たちの話を聞いたりして、だいが意識が高まったと思います。目標としては、3年後までには、社長からいつでも後継できるという体制にしていきたいと思います。」(株)久保田オートパーツ・久保田泰規)

「今回、研修で学んだことを実践し、まずは会社としての目標でもあるISO14001の取得に向けて、自分が先頭になって会社をまとめていきたいと思います。」(有)安澤商店・安澤康博)

「この研修に参加して、自分はまだ後継者としての意識が低いと感じました。これからは高い問題意識を持って、まずはJEで決めた作業手順書を作成し、成功

させたいと思います。」(ウエイクパーツ・和気大輔)と今回、初めて後継者研修会に参加した3名もそれぞれのこれからに賭ける熱い思いを発表した。

216  
(有)安澤商店  
安澤康博



914  
(株)久保田オートパーツ  
久保田泰規



714  
ウエイクパーツ  
和気大輔

## リサイクル部品認知度向上プロジェクトがスタート

# 整備工場を通じて一般ユーザーにももっとリサイクル部品のことを知ってもらおう!!

“一般ユーザーにももっとリサイクル部品のことを知ってもらって、利用率を上げていこう”という考えから、この度スタートしたリサイクル部品認知度向上プロジェクト。その第1回目の会議が11月18日、NGPグループ本部で行われた。

その会議の中で、一般ユーザーへ直接

リサイクル部品の啓蒙をするよりも、部品交換時にユーザーと直接触れ合う機会のある整備工場などに説明してもらうのがベストではないか?との意見から、まずは、NGP協力店になっていただいている整備工場よりリサイクル部品の優位性を説明した販促物の提供や、ユーザーに

リサイクル部品のことを説明する時に使えるパンフレット等の作成配布について話し合いを行った。

このプロジェクトでは、今後もリサイクル部品の認知度向上の新たな取り組みについて検討していく。

## NGP 通信欄

15年11月30日  
入会



ブロック名 中部東海ブロック  
社名 (株)アートパーツ長野  
住所 長野県松本市島立1132-21  
TEL 0263-40-2100  
代表者名 鈴木修一

一言 こんにちは、(株)アートパーツ長野の鈴木です。この度は、お客様並びにNGPグループ会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ありませんでした。おかげさまで持ちまして11月より新入会員として仲間に入れていただくことが出来、誠にありがとうございます。11月27日に新NGPシステムの導入をさせていただき、オンラインも無事開通致しました。改めて皆様のお力添えに感謝するとともに、NGPネットワークの力に感動しております。社員一同創立の原点に立ち返り、お客様第一の会社作りを目指し一生懸命商品の販売を致します。何卒皆様のご指導の程を宜しくお願い申し上げます。

15年11月30日  
入会



ブロック名 北海道ブロック  
社名 (有)アルズ  
住所 北海道釧路市文苑3丁目49-8  
TEL 0154-38-4471  
代表者名 大森教裕

一言 この度はNGPグループに入会させて頂きありがとうございます。私もリサイクル部品業界に14年間務めて参りまして、この業界はグループに属さなくては運営が困難な事も承知しております。もし、グループに入るのならNGPグループしか考えられないと思っておりました。現在、倉庫を建設中で、今月には札幌にて産業廃棄物の講習も受ける予定になっており、あいおい損保様などの全損車輻引取りにも対応出来るようにしてまいります。今後は初心に戻って地域一番店を目指してがんばりたいと思います。当面は販売中心で次に翌年を目処に生産をしていきたいと考えております。いたらない部分がたくさんあるかと思いますが、皆様のお力を貸して頂ければ幸いです。これからもよろしくお願い申し上げます。

# (株)NGPとリビルトメーカー協力会の設立と意見交換会を開く

(株)NGP(青木勝幸 代表取締役社長)は、去る12月4日、同社の協力店となっているリビルトメーカー各社をNGPグループ本部に招き、お互いの関係強化と更なる相互活用のメリット向上を図るための新たな仕組みづくりに向けた「(株)NGP & リビルトメーカー協力会」(仮)の設立とリビルトメーカー協力店との意見交換会を行った。

会の冒頭に挨拶した青木勝幸代表取締役社長は、「今現在のNGPグループ並びに(株)NGPとリビルトメーカー協力店との関係をもう一步前進させ、グループのメンバーがもっとたくさんリビルトメーカー協力店のリビルト部品を売れる仕組み作りをしていきたいと考えています。そのために、今日はお忙しい中、リビルトメーカー協力店の皆様に足を運んでいただき、今後更なる協力関係に向けて率直な意見交換等を行いたいと思います。」と語った。

意見交換会ではリビルトメーカー協力

店から、“お客様からのクレーム対応するためのNGPフロントマンに対するリビルト商品知識を説明する場の提供”や“取引上のトラブルが発生した場合の(株)NGPへの相談窓口の設置”などの要望がなされるなど、活発な意見交換が行われた。

また、(株)NGPからの提案としてNGPフロントマンが安心して、協力店のリビルト部品を販売するための“保証内容の統一化”の問題や協力店のリビルト部品拡販に向けた媒体(NGPニュース)などを使ってのリビルト部品の広告宣伝、リビルトメーカーごとのキャンペーン実施などの提案がなされた。

また、NGPグループと協力店とのスケールメリットを活かした梱包材料納入会社の統一化や、NGPシステムの導入など、実務的な具体的提案なども行われた。



意見交換会(NGPグループ本部会議室にて)

今後、NGPグループでは、整備工場などにグループがストックするリサイクルパーツの在庫などを公開して、直接注文を受けるシステムの立ち上げなども視野に入れており、その時検索画面上にリサイクルパーツでも中古部品とリビルト部品の両方が表示され、利用者が用途や予算に合わせて選択するような仕組み作りができれば、リサイクルパーツ全体のシェアアップにも繋がるとし、そのためにはリビルトメーカー協力店各位との更なる関係強化が必要不可欠として、参加された皆様に協力を呼びかけた。

## 協力会に参加されたリビルトメーカー各社様

会社名	参加者名	会社名	参加者名
(株)ハンコックタイヤジャパン	加藤和義 様	(株)ターボテクノサービス	西 和己 様
信越電装(株)	渡辺啓純 様		斉藤礼子 様
(株)ジー・ローバル	宮南 修 様	(株)フジリンケージ	藤村幸吉 様
シャトコエンジニアリング(株)	赤髭国彰 様		藤村明男 様
		原料良一 様	(株)エイ・ティ・ケイ販売
(株)巴商会	福嶋邦彦 様	(株)コーヨー	佐原祐一 様
(株)デルオート	藤田昌樹 様	ウラワ産業	坂本英二 様
ヤマト自動車硝子(株)	佐藤和教 様	ジャパンリビルト(株)	田中克典 様
(株)ユニコ	増田浩二 様		高岡数広 様
日本ウエア・ハウス(株)	大庭 太 様		

### NGPグループ本部

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目19番26号 高輪光ビル5F  
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209  
http://www.ngp.gr.jp

### (株)NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目19番26号 高輪光ビル5F  
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201